



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2690回例会

2023.8.8(火) 於:サンバレー富士見

2023-24

RI 会長 ゴードンR.マッキナリー ガバナー 中村皇積

会長 土田 哲 幹事 望月隆一

会報委員会 川合礼恵 武田友良 木内昭夫 望月良則

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈185-1

TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564

事務局TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352

URL www.izuchuo-rc.org

写真: 柿田川(伊豆半島ジオパーク)

会長挨拶

会長 土田 哲君



皆さん、こんばんは。

7月29日の土曜日に私と望月幹事、和田増強副委員長で静岡市のグランシップで行われた会員増強セミナーに参加してきました。詳しくは後程、卓話の時間に報告があるかと思います。また、同日の10時から神島公園供用開始予告フォーラムがアクシスかつらぎで行われました。

午後から会員増強セミナーに出席しなくてはならなかったため、プログラムの前段しか参加できませんでしたが、経済学者の米倉誠一郎先生の基調講演を聴講する事は出来ました。

世界から見た日本の経済成長率の低さや、技術革新、イノベーションへの取り組みが世界と比べて消極的であること、国内消費偏重によるガラパゴス化など様々な問題を抱えつつも、我々が当然のことと思込んでいる既存ルートとは、まったく別のチャンネルにこそチャンスがあるという内容であったと私は理解しました。

我がクラブの会員増強も既存ルートのみではなく、別のアプローチをすることで会員増強、クラブの活性化に繋がるのかもしれない。

本日は地区ロータリー財団セミナー報告となります。よろしくお願いいたします。

出席報告

	出席総数	出席率	会員総数
今回	19/26	73.08%	28名

<欠席者>

- ・川合君 ・木内君 ・紀平君 ・小林(則)君 ・柴田君
- ・土屋(龍)君 ・望月(良)君



スマイル報告

●土田哲君 地区会員増強セミナー、米山奨学セミナー、ロータリー財団セミナー、インターアクト年次大会に参加していただいた皆様、ありがとうございました。(スマイル合計 ¥1,000)



ROTARY NEWS

RI会長メッセージ

2023-24年度会長 米ゴードン R. マッキナリー
2023年8月

メルボルンで開催された2023年ロータリー国際大会で、私はすべてのロータリー会員に、あらゆる状況においてメンタルヘルスのニーズに光を当てることをお願いしました。これには、会員同士が互いに支え合うこと、メンタルヘルスのサービスを提唱すること、治療へのアクセスを拡大するためにこの分野の専門家と橋渡しをすることなどが含まれます。

これは重要な任務であり、大きな課題です。しかし、それはまた、すべてのロータリー会員にとって身近に感じられることでもあります。なぜなら、ロータリーのすべての活動が、その当初より、人を思いやり、与えること、そして友情と慈愛の精神に基づいているからです。

ロータリーは、相互に結びついた140万人のリーダーからなる素晴らしいグローバルネットワークに成長しました。私たちは、世界でよいことをしようという深い決意を共有するリーダーです。しかし、ロータリーの力とは、地域社会で実施している活動だけではありません。私たちはまた、会員が本来の自分らしさを発揮できるよう安全な空間をつくることで、互いに支えあい、力を与えあいます。また、互いに安らぎといたわりの気持ちを分かちあいます。

こうしたつながりには深い意味があります。米国のある外科医長が最近、孤独は公衆衛生上の疫病であると明言しました。ビベック・マーティ博士は、「私たちは、タバコや肥満、薬物乱用など、ほかの重要な公衆衛生問題と同じように、社会的なつながりを築くことを優先しなければならない」と述べています。このような社会的つながりを築くために、ロータリーが世代を超えて行ってきたことを誇りに思います。また本誌の2023年1月号では「孤独」に焦点が当てられ、ロータリーにできることが取り上げられました。

ロータリーの世界的なコミュニティと、「超我の奉仕」を最優先する基本的価値観により、ロータリーは、メンタルヘルスのための強力な世界的サポーターとなっています。オハイオ州立大学が最近発表した研究によると、メンタルヘルスへの三つの介入方法のうち、親切な行為を行うことで、人びとが他者とのつながりをより強く感じられるようになることが明らかになりました。研究の共著者であるデビッド・クレグ氏は、「親切な行為は、人とのつながりを促進する最善の方法の一つであるようだ」と述べています。

この研究が示唆するのは、ロータリーがよく知られている支援活動は、奉仕する地域社会を変容させるだけでなく、私たち自身をも変容させるということです。今後メンタルヘルスの取り組みに焦点を置くにあたり、これをロータリーの新たな取り組みと考えるのではなく、より良く活動し、私たち自身と奉仕する人びとにより大きなインパクトを与えることができる機会としてとらえましょう。

私たちは、この活動をゼロから始めるわけではありません。メンタルヘルスへの取り組みに関するロータリー行動グループは、数年にわたり、この分野の課題に取り組んできました。人びとの認識を向上していくにあたり、このグループのメンバーのリーダーシップにも期待が寄せられます。

メンタルヘルスケアは、ロータリーの重点分野のいくつかにも合致しています。5月の時点で、メンタルヘルスに焦点を当てた41のグローバル補助金プロジェクトが行われています。その多くは非常に有望なものであり、今後数カ月に取り上げていく予定です。

心の健康にまつわる偏見をなくし、メンタルヘルスのニーズに対する認識を高め、予防的・介入的メンタルヘルスサービスへのアクセスを向上させるために、力を合わせましょう。

共に、世界に希望を生み出しましょう。